

# 目次

はじめに

基礎知識 漢詩の歴史と関連年表

主要作者

## 序章 四季を歌う

春水満四沢

伝 陶淵明／顧愷之

コラム① 超たいへん！科挙ってやっぱり難しい！

## 一章 春の詩

春風春水一時来

白樂天

花紅柳緑

薛稷

掬水月在手 弄花香滿衣

于良史

春宵一刻值千金 花有清香月有陰

蘇軾

コラム② 中国の食事風景今昔

## 二章 夏の詩

薰風自南来 殿閣生微涼

蘇軾

風定花猶落／鳥鳴山更幽

王籍

飛流直下三千尺 疑是銀河落九天

李白

安禪不必須山水 滅得心頭火自涼

杜荀鶴

コラム③ 何食べてたの？ 宮廷のお料理

## 三章 秋冬の詩

吾心似秋月

寒山

採菊東籬下 悠然見南山

陶淵明

孤舟蓑笠翁 独釣寒江雪

柳宗元

歲月不待人

陶淵明

コラム④ 中国って昔は皆チャイナドレス？

2

8

10

11

12

22

23

24

34

42

52

62

63

64

74

84

94

104

105

106

116

126

136

146

### Student

かなちゃん



好奇心旺盛でちょっぴり強気な大学一年生。音楽の好みは母の影響。最近茶道をはじめ、漢詩に興味を持つ。

### Teacher

諸田センセイ



名前からよく女性と間違えられる。強気のかなちゃんにたじろぎながらも、漢詩の世界を楽しく解説。



第四章 人生を歌う

松高白鶴眠  
梨花一枝春帶雨  
茶烟輕颺落花風  
白雲抱幽石  
行到水窮処 坐看雲起時  
雲無心以出岫

コラム5 楊貴妃って本当に「絶世の美人」だったの？

終章 新しい門出

松柏千年寿

コラム6 小さな足は魅力的だった！纏足のこと



李 白 147  
白 樂 天 148  
杜 牧 164  
寒 山 172  
王 維 180  
陶淵明 188  
白 樂 天 198  
206

知っておきたい茶席の漢詩

無一物中無尽蔵  
有花有月有楼台  
白圭尚可磨  
山中無曆日  
昨日少年今白頭  
欲窮千里目 更上一層楼  
花無心招蝶 蝶無心尋花  
山色豈非清浄身  
庭寒月色深  
月上青山玉一团  
暗香浮动月黄昏

吟風一樣松  
微風吹幽松 近聴声愈好  
万壑松風供一啜  
一片冰心在玉壺  
昨夜一声雁 西風万里秋  
夜来風雨声 花落知多少  
秋菊有佳色  
中有風露香  
長安一片月  
鳥宿池中樹 僧敲月下門  
梅花無尽蔵

索引

漢詩関連地図

208 210 211 212 213 214 215 207 216 217 218 219 220 221 222

この本の見かた

春水満四沢  
四季の歌  
四時歌  
春水満四沢  
秋月揚明輝  
冬嶺秀孤松  
夏雲多奇峰

作者名  
陶淵明  
白居易

読み下し文  
春水満四沢  
秋月揚明輝  
冬嶺秀孤松  
夏雲多奇峰

通釈  
春水満四沢  
秋月揚明輝  
冬嶺秀孤松  
夏雲多奇峰